

メディアプラストPM

メディアプラストPMはポリアルキルベンゼン(bi- and trialkylated aromatics)をベースとした芳香族の合成可塑剤であり、主に極性が低～中程度のエラストマーへの使用が推奨されます。例えば天然ゴム、ブチルゴム、SBR、EP(D)M、さらにCR、CM/CSM、EVA、PNRなどです。特にポリクロロブレンに使用される高価なエステル系可塑剤とは完全に置き換える事ができます。投与可能量はコンパウンドの充填剤の量と同様にCRゴムのタイプによる塩素レベルの違いによって変わります。

無極性コンパウンドにおいては鉱物油系可塑剤と比較して可塑剤が移行する危険性が無く、多量に投与する事が可能です。

メディアプラストPMは非汚染性ですので色ゴムの生産にも使用できます。この製品は硫黄とその派生物を含んでおらず、又、高い浸透性を持っている事から生産されたゴム部品は素晴らしい機械的物性を示します。約 -50°Cという低い凝固点のおかげで最終製品も驚くほどの低温柔軟性を持ちます。

メディアプラストPMは重金属や言及すべき程の多環系の構成物質を含んでおりません。したがって有害物質とは考えられません。さらに、硫黄とその派生物を含んでいない事により生産されたゴム製品の耐老化性に良い影響を与えます。

物理的特性

化学的特性		: ポリアルキルベンゼン
外見		: 黄色、液体
色調 (ASTM 1500D)		: max 1.5
比重(15°C)	(g/cm ³)	: 0.875±0.010
屈折率		: 1.490±0.010
粘度(40°C)	(mm ² /s)	: 23±3
粘度(20°C)	(mm ² /s)	: 約 60
引火点	(°C)	: 180 以上
凝固点	(°C)	: 約 -50 以下
アニリン値	(°C)	: 約 50
揮発性 (2h/ 160°C) (%)		: 1 以下
貯蔵安定性		: 適切な貯蔵条件下で10年
梱包		: 180 kg/ドラム